

## 第5回嬉野市教育委員会会議（定例10月）

平成29年10月18日（水）10:10～12:15

五町田小学校 ミーティングルーム

### 1 開会

### 2 会議録署名委員 ○○委員 ○○委員

### 3 議題

#### （1）報告

#### ①9月定例議会について

（教育長）

- ・嬉野市は9月議会で前年度の決算も行うため長期間となります。
- ・山口政人議員より教職員の勤務状況に関する質問がありました。中学校は土日の部活のために勤務時間が多くなっているのをどちらかを休みにするよう推奨しています。部活動指導員導入について県は結論を出していませんが、今後の取組みとして文科省では国 1/3、県 1/3、市町村 1/3 負担での各学校 3 名程度の導入を検討されているようです。なお、第3水曜日は定時退庁を全県下で統一して実施しています。
- ・芦塚議員からは伝建地区のトイレについての質問がありました。検量所や西岡家住宅に設置してありますが、団体客に対応できるトイレは今のところ区内にはありません。今後検討する必要はあるかと思えます。
- ・山下芳郎議員については長崎街道の学習に関する質問がありました。すでに実施しているのでそのことを答弁しています。大野原中では長崎街道を歩いて史跡巡りなども行っています。
- ・山下議員からは八谷家の文化財の指定についての質問もありました。現地を確認に行ったところ草ぶきではなく瓦ぶきに変わっていました。文化財として認めるには元に戻してもらう必要があります。
- ・西村議員については、長時間労働、市職員・学校職員の安全配慮義務、火の口交差点の改良について質問がありました。資料に書いているような答弁を行っています。長時間労働については2学期制の導入などの対策を行っていますが決定的な解決になっていない旨を話しています。県費負担職員の時間外勤務の管理と年休取得について、対策として来年度くらいから閉庁日を設けたいと考えていると答えています。安全配慮義務については過労死等を未然に防止するための義務であると認識しており、夏季休業期間は研修等を入れないなどの対応をしています。適正労働配置義務については現在病休を取っている職員の人数などから説明しています。

・梶原議員からは児童生徒の自殺予防についての質問がありましたが、今年は新聞にも大々的に掲載され、学校では常々命を大切にすることについて指導を行っています。嬉野市は8月25日から夏休み明けとなるため早めに注意喚起を行いました。教育機会確保法に関する質問は資料のとおり答弁しています。

・生田議員からは古陶磁を常設展示できないかとの質問がありましたが、歴史民俗博物館で展示している旨と今後窯元会館やうれしの茶交流館などとの連携について検討したい旨を答えています。赤絵の展示なども行っていきたいと考えています。

(〇〇委員) ・昔の元禄焼きや不動山皿屋谷の焼き物などを総合的に展示すれば興味深いものになるかもしれないですね。

(教育長) ・山口要議員から発達障がい児についての質問がありました。26年度から実施している早期支援コーディネーターの説明をし、嬉野市では早くから取り組んでいることや6月補正して嬉野小・中学校で実施している発達障害に関する事業について説明しています。また、読書問題については、文学散歩や大人のためのお話会などの取組みを説明しています。7枚の立て看板を作成し公民館等に設置したことも報告しました。議員の方にもこれらの取組みに参加いただきたいと思います。学校司書についての質問があったので配置状況について説明しました。

(〇〇委員) ・せっかくできた読書条例なのでこれを機会とした取組みをしてはどうでしょうか。例えば読書感想文の課題図書を購入するのに補助を出す程度であれば予算は多くはかからないと思われれます。

(教育長) ・条例制定の機会をとらえての取組みとしては嬉野図書館の拡張なども検討しています。拡張部分に子どもの読書スペースを取りたいと考えています。

(〇〇委員) ・発達障がいについての保護者への説明は学校からではなく専門家からの方が保護者も納得しスムーズにいくと思われれます。検討をお願いします。

(〇〇委員) ・最近子どもの自殺という事件が起こっています。先生の指導を原因とするものとのことだったので、そのあたりは十分に注意していただきたい。

(委員長) ・子どもの指導は1対1だけではなく複数で情報を共有することが大切と感じました。

## ②9月補正予算について

(事務局) ・9月補正は学校関係は中学生のための放課後学校塾事業と通級指導教室整備事業を提案しいずれも承認されました。中学生の放課後学校塾とは中学校で週4回放課後の2時間程度講師による塾開催を予定しています。ただし、この事業は国庫補助を財源とするものであり、まだ申請中で採択となるかどうかわかりません。不採択となった場合は市単独予算で規模縮小して実施する可能性も

あります。通級指導教室については今年度から新たに塩田中学校で実施をされていますが、教室の環境設備が整っていないため消耗品費と備品購入費を要求し承認されたものです。

・この他に伝建地区の荷揚げ台の保全修理の予算も承認されています。

(〇〇委員) ・中学生の放課後学校塾はすでに実施している放課後補充学習とは違うのですか。

(教育長) ・既存の事業は週に1、2回程度で中学生全学年を対象としていますが、新事業は中学3年生だけで週4回、国語・英語・数学の3教科を行います。国からの承認があり次第講師を集めて実施する予定です。

(〇〇委員) ・今年度だけというのはおかしいのではないのでしょうか。

(教育長) ・一年だけでも補助があるなら実施する価値があると思われます。今年度実施してみて結果によっては市費で継続することも検討してよいと思っています。

### ③第4回校長会について

(教育長) ・小学校の道徳の教科書については資料のと通りの採択をしました。近隣市町も同様です。

・嬉野っ子みらい夢事業として井上愛一郎さんを迎えて講演会を実施しました。アンケートを取ってとりまとめています。

・県教職員課の学校訪問を嬉野小、吉田中、大草野小、五町田小で受けました。特に労働安全衛生法に管理職は安全配慮義務があるとのことを指導されました。

・ろくさんプラン計画について、今年度は3ステップの最終年であり来年度新スタイルをつくることとなります。

・新たな学習内容の推進部会では道徳と英語の取組みについて話し合っています。今年中に決める予定です。

・佐教組からの教育環境や労働環境に関するお願いがあり、エアコン使用についてなかなかスイッチを入れにくい雰囲気であるのを改善してほしいといった要望もありました。

(〇〇委員) ・学校のエアコンは同時に使用できない仕組みとなっていると聞くがどういうことですか。

(事務局) ・デマンド機能により一定電気量に達すると使用を抑える仕組みをとっています。というのは一年の最高使用量で翌年の基本額が決まってくるため、予算抑制のために仕方がないものです。

(教育長) ・いじめ問題等発生防止支援委員会について校長会で紹介しています。

・子ども支援連携会議は特別支援について今年度専門家を入れて実施しているものです。年2回開催します。

- ・学校給食がパンの工場が減るため、一部冷凍パンを使用することになります。
- ・ドリームワーク寄贈としてサガン鳥栖の選手が入ったワークを小学生にもらいました。

#### ④社会教育行事について

- (事務局)
- ・10月の学校関係の行事は1日の塩田津町並みスケッチ会、4日からの通学合宿、12日、13日の音楽アウトリーチ、そして本日久間小学校でダンスワークショップが開催されています。このうち通学合宿での2件の怪我について報告します。男児が遊び中に畳で足親指付け根を擦り受診しました。また女児が牧場の体験中に足首を骨折しました。いずれも経過は良好とのことです。
  - ・11月は16日にダンスワークショップを五町田小で実施予定です。

#### ⑤全国学習状況調査の結果について

- (事務局)
- ・4月18日に実施されたもので県と嬉野市の状況を整理した資料です。赤い欄は全国より3点以上低いもの、青い欄は3点以上高いものです。以前は青が多かったのですがだんだん赤が増えてきて今回は全て赤となっています。AとBの違いはAが基礎基本であり、Bは活用力応用力をみるものですが、Bが赤でなので応用力が弱いと言えます。
  - ・全国47都道府県の点数に市内学校の点数をあてはめた表ですが上位に位置づける学校がある一方でかなり下位となった学校もあり、両極端と言えます。
  - ・過去10年間の佐賀県と嬉野市の比較と全国と嬉野市の比較をしたものです。県との比較では真ん中より上にありますが、全国との比較ではだんだんに上がってきつつあり、今回は下がっています。中学生はだんだん下がって来ていましたが今年は若干上がっています。
  - ・全国を100とした場合の学校ごとの得点を示しており、青い欄は国より5%以上高く、赤い欄は5%以上低いことを表しています。
  - ・内容領域別に点数を比較したものであり、どのような分野が弱いのか、また強いのか学校ごとに分かります。
  - ・問題別正答率を全国と嬉野市で比較したものであり、どのような問題が嬉野市が低いのかわかります。
- (〇〇委員)
- ・基本的に学校間の比較をする必要はないですが、点数の高い学校と低い学校の違いは何かを研究してより良い方に行くようにすることは大切と思われます。この内容を校長にも伝えていただきたい。

#### ⑥駅伝大会の結果について

- (事務局)
- ・10月6日に実施され女子は嬉野中学校Aチームが優勝しています。11月

10日の県大会に出場することとなります。3位に塩田中A、5位に吉田中Aが入っています。大野原中は選手の一人がはやり目で出席停止となったため急遽出走を取り止めました。

・男子は1位嬉野中、4位塩田中、7位吉田中、8位大野原中という結果でした。こちら嬉野中が県大会出場します。

#### ⑦通学路点検について

(事務局) ・平成24年に京都で通学中の子どもの列に車が突っ込むという事件をきっかけに始まったものです。嬉野市でも実施しており今年度は明日から行います。参加者は学校関係、市教育委員会、市道路管理者、県道路管理者です。

#### ⑧働き方改革にかかる緊急提言、県下一斉部活動休養日、について

(事務局) ・中央教育審議会から教員の働き方について緊急提言があり、具体的にできることからしなさいということが示されました。タイムカードを導入して勤務時間を把握することや部活動の休養日を決めること、長期休業期間に学校閉庁をすることなどです。嬉野市教委としては教員の勤務時間の把握はパソコンの電源のオンオフで記録するシステムを利用します。部活動の休養日は県から第3日曜を休むことの通知に従い、さらに第3水曜日にも休むようにしています。

#### ⑨その他

##### ・不登校の状況について

(事務局) ・中学校は9月に30日以上欠席が2人増えて10人に、不登校傾向が5人増えて14人になり、合計で7人増加しました。増の内訳は〇〇中が4人、〇〇中が2人、〇〇中が1人です。

・小学校は2人増の8人です。増の内訳はいずれも〇〇小です。

・対応としては管理職やスクールカウンセラーで行っているところです。

##### ・いじめの状況について

(事務局) ・〇〇小で8月に2件、9月に1件、認知を行っています。軽くたたいたとか冷やかしたといった内容です。

・〇〇中で8月に2件の覚知、1件の認知となっています。部活内のトラブルで冷やかしからかいといった内容です。

##### ・車上荒らし等への備えについて

(事務局) ・大草野小で夜の体育館利用者の車が荒らされた事件が起こったため各学校に注意喚起の通知を行いました。この後は発生していません。

## (2) 協議

### ・入学式の開始時刻の設定について

(事務局) ・今年度は小学校を午前中、中学校は同日の午後に行いました。このことについて学校に意見を求めたところ、小学校は特に問題ありませんでしたが、中学校は非常に大変だったとのことでした。保護者からは両方に参加できてよかったなどの意見がありました。来賓からは午前も午後もというのはつらいといった意見もありました。

・来年度は小学校の新一年生が 218 人でその内 11 世帯が中学校と重なります。どうしたかよいか協議いただきたいのですが、次回の定例会までにそれぞれ検討していただくようお願いします。

### ・読書活動推進月間について

(教育長) ・条例が制定されましたが今後どうするかを検討していく必要があります。先ほど意見のあった読書感想文課題図書への購入補助や図書館の拡張などを含めて考えていきたいと思えます。

### ・夏休み等の閉庁日について

(教育長) ・8月10日から20日までは行事を入れないとのことをお願いをしています。実際にはいろいろな形で事業が入ってきています。働き方改革を踏まえて8月13日から15日からは閉庁日として進めてもよいでしょうか。

(全委員) ・承認

## (3) その他

### ①嬉野市教育委員会の学校訪問

(事務局) ・11月1日は轟小の学校訪問を予定しています。  
・11月10日は吉田小中学校の研究発表会を予定しています。

### ②中学校文化発表会

(事務局) ・各中学校で実施されますが、教育委員まで案内を出す学校、出さない学校があるので紹介しています。お時間があれば見学をお願いします。

### ③嬉野市教育の日

(事務局) ・11月12日に各小中学校で実施されるので手分けして訪問を行いたいと思います。内容についてはまだ出そろっていないので次回の定例会でお示しします。

④次回教育委員会

- (事務局) ・11月7日を提案。  
その後、調整により11月8日に決定。

4 閉会

※傍聴人 なし

会議録署名委員

---

---